

三重労働局長がベストプラクティス企業を訪問しました。 ～宇野重工株式会社の取組について～

三重労働局（局長 下角圭司）は、11月11日、「過重労働解消キャンペーン」の月間の取組の一環として、長時間労働の削減や年次有給休暇の取得促進等の働き方改革に向けて、積極的に取り組んでいるベストプラクティス企業への職場訪問を実施しました。

訪問先の宇野重工株式会社（松阪市大津町）では、代表取締役 宇野恭生社長、執行役員 近藤好一製造部長、総務部 浅沼豊司課長のご案内により、現場パトロールに同行した後、社長をはじめとする従業員の方々との意見交換を行いました。

宇野重工株式会社では、「労働時間の削減」や「年次有給休暇の取得促進」等に向けて、

- ① 受注の平準化
- ② ノー残業デーの設定（毎週水曜日）
- ③ 定例会議を活用した工程調整の実施
- ④ 繁忙期における退職者の活用
- ⑤ 「『はた』を『楽』に、いい会社をつくろう！」をキーワードに、従業員アンケートやマンダラチャートを活用したボトムアップの業務改善
- ⑥ タブレット・スマートフォン・クラウド環境の整備や基幹システムの統一による業務効率化
- ⑦ 事務室やミーティングエリアのレイアウト変更による職場環境の改善、集中エリアの設置による思考時間の確保
- ⑧ 年次有給休暇の計画的付与導入

等の「働き方改革（UNO方式）」に取り組んだ結果、「**時間外労働が4%減少**」「**年次有給休暇取得率が15%アップ**」しました。

宇野社長からは、「現在の長時間労働の削減を含む働き方改革への取組として、従業員とご家族を大切に、従業員一人一人が安全で健康に生き生きと働き、その能力を発揮できる職場環境を創っていくことが、経営者として何よりも大事なことだと考えており、この訪問を契機にこれまで積み上げてきたことを見直し、さらにレベルアップを目指す所存です」とのご説明をいただきました。

三重労働局としても、これらの取組を広く紹介することにより、今後も社会全体の長時間労働の削減に向けた気運の醸成を図っていきます。

会社概要

商号	宇野重工株式会社
本社	三重県松阪市大津町 1607 番地の 1
設立	昭和 40 年 1 月 22 日
代表者	代表取締役 宇野 恭生
資本金	1 億円
従業員	139 名
主要営業品目	橋梁・橋梁補修・水門

宇野重工株式会社への職場訪問の状況

○宇野重工株式会社本社



○三重労働局長が職場訪問の趣旨を説明



○宇野社長より説明



宇野社長（右）

○浅沼課長より説明



○現場パトロール（工場）



○現場パトロール（事務所）



○ 事務室



○ミーティングエリア（打合せ内容によりレイアウト変更可能）



○集中エリア



(写真は宇野重工株式会社提供)

○意見交換



○意見交換



○意見交換



建設部設計課 大塚課長 (左)

製造部製造課 達原職長 (右)

○意見交換



総務部総務課 池山リーダー (左)

水環境事業部環境設備課 新井主任 (右)

○意見交換



製造部製造課 西井班長（左）

建設部設計課 大塚課長（右）

○松坂労働基準監督署長閉会挨拶

